

地質調査技士に合格して

新和設計(株) 池田 敦子



地質調査技士試験は、今年度に受験資格を満たしたこともあり、資格取得にチャレンジしてみようと思い、受験しました。

試験を受験するうえで、協会の主催する事前講習会に参加しました。参加することにより点数が加算され、また講習会テキストが入手できるからです。講習会では、テキストを使い試験の傾向や試験範囲で重要な部分を説明していただき、大変役に立ちました。

試験に向けては、択一式問題、記述式問題それぞれについて次のように対策を行いました。択一式問題は、ホームページから過去問を印刷し、繰り返し解きました。解いているうちに傾向や自分が解けない問題がわかるので、その部分を確認しながら進めました。また、事前講習会テキスト等で理解できていない部分や重要な部分についての確認を行いました。

記述式問題についても、ホームページから過去問、答案用紙を印刷し、繰り返

し解きました。全地連の倫理綱領は、何度も書いて心の中で読みながら覚えていきました。なお、倫理綱領を踏まえて自分が技術者として実践していることについても考え書き出しました。選択問題は、文字数制限がある中で言葉をまとめて書き出すということに苦労しましたが、簡潔にわかりやすく記述できるように努めました。

試験当日は、問題を解いていて普段あまり関わらない分野においての問題が解けず、出題範囲全体をもっと理解しないといけないのだと痛感しましたが、最後まで粘りました。受験して感じたのは、今までの業務において学んだこと、得たものが試験に活かされ、重要になるのだと感じました。

会社の皆さんには日々様々なことを教えていただき、本当に感謝しています。少しずつではありますが、成長していけるよう今後も業務に取り組んでいきたいと思っています。

国土防災技術(株) 高橋 康平



今回、私は地質調査技士の試験に合格しました。堂々と名刺に書くことのできる資格を取得して、自分の名前だけの寂しい名刺からやっと卒業できる大変嬉しい結果でした。

受験体験記ということで、私の体験が参考になるかはわかりませんが、受験対策中や実際に試験を受けてみて感じたことを書いていきます。

勉強を始めるにあたって、先輩方どのような勉強をしたか聞いてみると、「とにかく過去問を解く」という答えが返ってきたので、まず過去問をダウンロードすることから始めました。実際に過去問を解いてみると、業務で携わったことのあるものは解けましたが、そうでないものはほぼ解けませんでした。また、解答は番号しかなかったため参考書が必要だと思い本屋へ探しに行きましたが、参考書は見つけれませんでした。

そこで、私は事前講習会に参加することにしました。加点されるということもありましたが、参加した一番の理由はテキストを入手したかったからです。また、日々の業務もある中での勉強のため、ただがむしゃらに勉強するのではなく、講義で要点を聞いて少しでも効率よく勉強したいという気持ちもありました。

講習会を受講すると、勉強に対するモチベーションも上がり、テキストでわからないことも調べることができるように

もなったため、参加して本当に良かったと感じています。

それからは過去問を解いては間違えた問題をテキストで調べるという勉強方法で試験準備を行いました。

過去問を数年分解いてみて、繰り返し出題されている問題がある等の傾向がなんとなくわかるようになりました。また、自信を持って正解を選べない問題も、ある程度答えを絞ることができるようになりました。

先輩方のアドバイス通り、過去問を解くことが大切だと感じました。私がどのような勉強をしたかと今後聞かれた場合、やはり私も「過去問を解く」と答えます。

午後の部の記述式問題は、必須問題に関しては「倫理綱領」を丸暗記しました。

選択問題は、運良く業務で携わったことのある内容の問題が出題されたため書くことができました。記述問題はテキストで勉強するだけでは書くことができないため、当たり前のことではありますが、日々の業務に真面目に取り組むことが重要だと痛感しました。

以上が受験を通して私が感じたことです。

今回の受験準備で得た知識やモチベーションを今後の業務に活かし、今後も技術者としてさらに成長していきたいと思っています。